

8 成人保健

いきいきとした高齢期を過ごすためには壮年期からの健康管理が大切です。特に死亡率の6割以上を占めている、がん・心臓病・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病対策が重要です。

鶴岡市では、健康増進法に基づく各種健康診査や健康相談をはじめ市民の健康づくりのための事業を実施しています。

(1) 健康診査事業

(平成29年度予算額 211,615千円)

がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、年1回必要な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と老後の健康の保持に役立たせようとするものです。

○健診種類

- ・胃・大腸がん集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・呼吸器（肺がん・結核）集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・子宮がん個別検診……………市内5医療機関で実施
- ・乳がん個別検診……………市内11医療機関で実施

(うち、乳房エックス線検査は7医療機関で実施します。)

- ・がん人間ドック検診（胃・大腸・呼吸器・子宮・乳がん） 市内5医療機関で実施
- ・骨粗しょう症検診……………市内5医療機関で実施
- ・肝炎ウイルス検査……………指定の日時・会場で実施
- ・歯周疾患個別検診……………県内委託医療機関で実施
- ・特定健康診査（基本健康診査に準ずる健診）

- 集 団……………各地区公民館、コミセン等で実施
- 個 別……………市内49医療機関で実施
- 人間ドック……………市内5医療機関で実施

○委託料

(単位：円)

検 診 項 目		29年度	検 診 項 目		29年度
胃がん検診	集団	4,892	骨粗しょう症検診	人間ドック	3,120
大腸がん検診	集団	1,886	肺炎ウイルス検査	集団	3,240
子宮がん検診	集団	4,320	がん	集団・個別	4,931
	個別	6,864		男	13,810
乳がん検診	集団	1方向	人間ドック健診	女(子宮)	17,340
		2方向		女(子宮、乳(1方向))	20,830
	個別	1方向		女(子宮、乳(2方向))	21,910
		2方向		特定健康診査	集団
肺がん検診	集団	読影	特定健康診査	個別(人間ドック含む)	10,304
		喀痰検査			
	ドック	喀痰検査		2,910	

※特定健康診査は基本項目、詳細項目すべてを実施した場合の委託料となります。

※がん人間ドック検診は該当する検診すべてを実施した場合の委託料となります。

○自己負担金

(単位：円)

検診項目		29年度	検診項目		29年度	
胃がん検診	69歳以下	1,000	骨粗しょう症検診	集団・人間ドック	500	
	70歳以上	200	肝炎ウイルス検査	41歳以上 69歳以下	300	
大腸がん検診	69歳以下	500		40歳・70歳以上	無料	
	70歳以上	100	歯周疾患検診	40・50・60歳	1,500	
子宮がん検診	69歳以下	1,200		70歳	無料	
	70歳以上	400	がん人間ドック検診	男	6,200	
乳がん検診	69歳以下	1,200		女(子宮)	7,400	
	70歳以上	400		女(子宮、乳)	8,600	
呼吸器検診 (肺がん・結核)	読影	69歳以下	特定健康診査	64歳以下	1,500	
		70歳以上		無料	65歳以上(集団・個別)	300
	喀痰	69歳以下		600	65歳以上(人間ドック)	1,500
		70歳以上		200		

※生活保護世帯は、申請により全額免除されます。(人間ドックを除く)

※市町村民税非課税世帯は、申請により一部免除されます。(人間ドックを除く)

※特定健康診査の自己負担金は、加入する医療保険者によって異なります。

① 健康診査(基本健康診査に準ずる健診)

- ・健診の内容：①問診、身体計測(身長・体重・腹囲)、身体診察、血圧測定、検尿(糖・蛋白)、脂質検査(LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪)、肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、糖尿病検査(空腹時血糖またはヘモグロビンA1c)
- ②心電図検査、眼底検査、貧血検査
(検査は医師の判定に基づき選択で実施)
- ・健診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方
(平成28年度実績)

		生活保護	その他	計
受診者数(人)	集団	85	0	85
	個別	19	0	19
	ドック	9	1	10
	計	113	1	114
階層区分(人)	積極的	5	0	5
	動機づけ	5	0	5
	計	10	0	10

② 胃がん検診

- ・ 検診の内容：問診、胃部エックス線検査、胃内視鏡検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		26年度	27年度	28年度
対象者数（人）		51,794	51,439	50,630
受診者数 （人）	集 団	4,758	4,489	4,292
	ドック	13,283	12,999	12,720
	計	18,041	17,488	17,012
受診率	（%）	34.8	34.0	33.6
要精検者数	（人）	6,091	4,898	4,627
要精検率	（%）	33.8	28.0	27.2
精検受診者数	（人）	5,924	4,769	4,489
精検受診率	（%）	97.3	97.4	97.0
がんであった人	（人）	56	47	38

※精密検査の状況は、平成28年度については平成29年5月現在の数値。平成26・27年度については翌年度末までに報告のあったもの。

③ 大腸がん検診

- ・ 検診の内容：問診、便潜血検査（2日法）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		26年度	27年度	28年度
対象者数（人）		53,868	53,609	53,018
受診者数 （人）	集 団	7,275	7,210	7,017
	ドック	14,306	14,211	14,038
	計	21,581	21,421	21,055
受診率	（%）	40.1	40.0	39.7
要精検者数	（人）	1,822	1,723	1,703
要精検率	（%）	8.4	8.0	8.1
精検受診者数	（人）	1,566	1,427	1,305
精検受診率	（%）	85.9	82.8	76.6
がんであった人	（人）	58	61	45

※精密検査の状況は、平成28年度については平成29年5月現在の数値。平成26・27年度については翌年度末までに報告のあったもの。

④ 子宮がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、頸部細胞診
- ・ 検診対象者：20歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		26年度	27年度	28年度
対象者数（人）		41,624	41,363	40,879
受診者数 （人）	集団	137	139	151
	個別	4,785	4,570	4,664
	ドック	5,912	5,886	5,736
	計	10,834	10,595	10,551
2年連続受診者数（人）		7,811	7,567	7,495
受診率（%）		36.0	33.5	33.4
要精検者数（人）		241	203	201
要精検率（%）		2.2	1.9	1.9
精検受診者数（人）		221	183	166
精検受診率（%）		91.7	90.1	82.6
がんであった人（人）		10	8	7

※受診率は、従来単年度毎に受診率を算出（*の数値）してきたが、平成26年度より国、県の算出方法に基づき変更。受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷当該年度の対象者数×100

※精密検査の状況は、平成28年度については平成29年5月現在の数値。平成26・27年度については翌年度末までに報告のあったもの。

⑤ 乳がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、乳房エックス線（マンモグラフィ）検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の偶数年齢の市民で、他で受診する機会のない方

		26年度	27年度	28年度
対象者数（人）		36,399	35,784	36,086
受診者数 （人）	集団	219	192	219
	個別	1,858	1,539	1,512
	ドック	3,323	3,210	3,313
	計	5,400	4,941	5,044
2年連続受診者数（人）		550	132	47
受診率（%）		30.0	28.5	27.5
要精検者数（人）		272	329	308
要精検率（%）		5.0	6.7	6.1
精検受診者数（人）		254	313	293
精検受診率（%）		93.4	95.1	95.1
がんであった人（人）		13	11	11

※受診率は、従来単年度毎に受診率を算出（*の数値）してきたが、平成26年度より国、県の算出方法に基づき変更。受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷当該年度の対象者数×100

※精密検査の状況は、平成28年度については平成29年5月現在の数値。平成26・27年度については翌年度末までに報告のあったもの。

⑥ 呼吸器検診（結核・肺がん検診）

- ・ 検診の内容：問診、胸部エックス線検査、かく痰細胞診（ハイリスク希望者）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		26年度	27年度	28年度
対象者数（人）		54,265	53,937	53,335
受診者数 （人）	集 団	8,864	8,607	8,393
	ドック	14,306	14,190	14,023
	計	23,170	22,797	22,416
	かく痰検査	656	666	571
受診率（%）		42.7	42.3	42.0
肺がん に対する精査	要精検者数（人）	598	533	506
	要精検率（%）	2.6	2.3	2.3
	精検受診者数（人）	536	477	425
	精検受診率（%）	89.6	89.5	84.0
肺がん以外 の疾患に 対する精査	要精検者数（人）	320	351	343
	要精検率（%）	1.4	1.5	1.5
	精検受診者数（人）	137	146	105
	精検受診率（%）	42.8	41.6	30.6
がんであった人（人）		16 (2)	21 (6)	9 (1)
結核であった人（人）		1	0	0

※精密検査の状況は、平成28年度については平成29年5月現在の数値。平成26・27年度については翌年度末までに報告のあったもの。

※がんであった人には、喀痰検査及び結核要精検でがんであった（）内の人数を含む。

⑦ 骨粗しょう症検診

- ・ 検診の内容：問診、骨塩定量検査
- ・ 検診対象者：40・45・50・55・60・65・70歳の女性の市民で、他で受診する機会のない方

		26年度	27年度	28年度
受診者数 （人）	集 団	91	108	130
	ドック	881	815	884
	計	1,016	972	1,014
要指導者数（人）		190	181	200
要精検者数（人）		263	216	267
要精検率（%）		27.1	23.4	26.3

⑧ 肝炎ウイルス検査

- ・ 検診の内容：問診、C型肝炎ウイルス検査、HBs抗原検査
- ・ 検診対象者：当該年度において40歳となる方又は41歳以上となる方で、過去に当該検診に相当する検診を受けたことがなく、本検診の受診を希望する方
(平成28年度実績)

	40歳総合検診(人)	集団検診(人)	計(人)
受診者	196	222	418
C型肝炎感染疑い	0	1	1
B型肝炎陽性	0	2	2

⑨ 歯周疾患検診

- ・ 検診の内容：問診、歯周組織検査
- ・ 検診対象者：40・50・60・70歳の市民で、他で受診する機会のない方

		26年度	27年度	28年度
対象者数(人)		6,843	6,269	6,858
受診者数 (人)	集団	94	111	90
	個別	222	183	190
	計	316	294	280
受診率	(%)	4.6	4.7	4.1
要精検者数	(人)	252	234	246
要精検率	(%)	79.7	79.6	87.9

⑩ 人間ドック

		26年度	27年度	28年度
一日	男	6,343	6,343	6,291
	女	7,460	7,417	7,329
	計	13,803	13,760	13,620
一泊	男	517	499	473
	女	153	132	134
	計	670	631	607
合計		14,473	14,391	14,227

⑪ 健康診査受診意向調査

市等で実施する各種健康診査の対象者がいる全世帯に対し、種別ごとにどのように受診するのかを把握する調査で、12月に実施しています。

	26年度	27年度	28年度
対象世帯数	45,350	45,551	45,609
提出世帯数	16,338	15,608	15,865
提出率(%)	36.0	34.3	34.8

※提出世帯数は各年度1月31日現在数値。

※登録制としたため、提出人数は掲載しない。なお提出は、人間ドック希望者及び登録情報に変更がある場合のみ。

(2) 成年期の健康診査事業

(平成29年度予算額 3,763千円)

生活習慣の変化により、若年層からの健康管理が重要であることから、40歳未満で他に健診機会のない方を対象に、自分や家族の健康管理の第一歩として健康の自己管理能力を育む支援を行うものです。

① さわやか健診

- ・健診回数：一般 レディース健診 6回、メンズ健診 2回 未受診者健診 5回
 - ・検査項目：健康診査（特定健診と同じ項目：眼底検査を除く）、
骨粗しょう症検診(年度内に20・25・30・35歳の年齢を迎える女性の希望者)
 - ・健診時に全員に保健指導を実施
 - ・レディース健診では一時保育を実施（一時保育利用59人）
- (平成28年度実績)

		健康診査		骨粗しょう症検診
		レディース	メンズ	レディース
受診者数(人)		404	225	33
判定区分 (人)	要指導	170	84	0
	要医療(要精検)	90	112	0
	治療中	9	6	0
要指導・要医療(要精検)率(%)		64.4	87.1	0

(3) 後期高齢者医療保険健康診査事業

(平成29年度予算額 99,970千円)

山形県後期高齢者医療広域連合からの受託事業で、被保険者に係る糖尿病等の生活習慣病の早期発見、医療費適正化を図るために健康診査を実施するものです。

- ・健診の内容：①問診、身体計測(身長・体重)、身体診察、血圧測定、検尿(糖・蛋白)、
脂質検査(LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪)、
肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、
糖尿病検査(空腹時血糖またはヘモグロビンA1c)
- ②心電図検査、貧血検査、眼底検査

- ・健診対象者：鶴岡市に住所を有する被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち各年度4月1日時点で加入している方）
（実績：各年度の翌年4月受付分まで）

		26年度	27年度	28年度
対象者数（人）		22,215	22,102	22,438
受診者数 （人）	集団	1,818	1,888	2,002
	個別	3,476	3,223	2,742
	ドック	2,498	2,604	2,697
	計	7,792	7,715	7,441
受診率（%）		35.0	34.9	33.2

（4）特定健康診査・特定保健指導事業（平成29年度予算額 134,816千円）

※国保年金課国保医療係・健康課成人保健係

鶴岡市国民健康保険が被保険者の適切な健康管理を図るために、生活習慣病の予防に着目した健康診査及び健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に保健指導を実施するものです。

- ・健診の内容：①問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（糖・蛋白）、脂質検査（LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪）、肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)）、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビン Alc）
②心電図検査、貧血検査、眼底検査
- ・健診対象者：年度中に40歳以上となる被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち一年間通して加入している方）
（実績：28年度は翌年4月受付分まで、26・27年度は法定報告値）

		26年度	27年度	28年度
対象者数（人）		23,952	23,010	22,152
受診者数 （人）	集団	3,587	3,636	3,442
	個別	154	129	107
	ドック	8,306	8,198	7,573
	計	12,047	11,963	11,122
受診率（%）		50.3	52.0	50.2
階層区分 （人）	積極的	412	370	340
	動機づけ	895	882	829
	計	1,307	1,252	1,169

- ・特定保健指導状況 ①荘内病院人間ドックは市直営実施
②特定健診委託機関のうち4機関にて実施
（健康管理センター・協立病院・宮原病院・斎藤胃腸クリニック）
③実施内容：180ポイントの個別支援のプログラムにて実施
 - ・初回面接
 - ・継続支援（個別面接・電話支援・支援レター）
 - ・6ヵ月後評価

年度	積極的支援			動機付け支援			合計		
	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率
28	340	26	7.6%	829	150	18.1%	1,169	176	15.1%
現在実施中の者		32	9.4%		165	19.9%		197	16.9%
27	370	39	10.5%	882	328	37.2%	1,252	367	29.3%
26	412	73	17.7%	895	368	41.1%	1,307	441	33.7%

※平成 28 年度の実施状況は、平成 29 年 4 月受付分までの数値

※平成 26、27 年度の実施状況は法定報告値（毎年度 10 月に確定）

(5) 健康教育・健康相談事業

(平成 29 年度予算額 2,213 千円)

① 健康教育事業

健康教育は、生活習慣病の予防などの健康に関する正しい知識を広めることによって「自らの健康は自らがつくる」という認識と自覚を高め、「健康の自己管理能力」を育成することによって壮年期からの健康づくりを促進するものです。

・内 容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に実施するほか、全市的な事業として医師・保健師・栄養士・健康運動指導士などを講師に健康講座の開催や健康づくりについての研修を行うものです。

・対象者：40 歳以上の市民及びその家族

(実施状況)

		26 年度	27 年度	28 年度
歯周疾患	活動回数 (回)	5	13	1
	人 数 (人)	171	68	32
ロコモティブシンドローム*	活動回数 (回)	281	257	243
	人 数 (人)	7,464	6,980	6,453
病態別	活動回数 (回)	10	38	31
	人 数 (人)	371	701	984
薬	活動回数 (回)	1	2	0
	人 数 (人)	42	22	0
一般	活動回数 (回)	1,075	845	760
	人 数 (人)	36,959	30,956	33,113

*運動器症候群

② 健康相談事業

健康相談は、心身の健康についての個別の相談に応じた必要な指導や助言を行い、家庭における健康管理に役立てていただくものです。

・内 容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に、保健師が中心となって生活習慣病の予防などについての健康相談や医師、栄養士、歯科医師などの協力を得て、糖尿病予防、食生活改善、歯周疾患予防、寝たきり予防などの健康相談を行うものです。

・対象者：40 歳以上の市民及びその家族

(実施状況)

		26年度	27年度	28年度
重点健康相談	活動回数(回)	31	174	159
	人数(人)	972	827	458
総合健康相談	活動回数(回)	488	996	1,361
	人数(人)	4,925	5,366	6,163
計	活動回数(回)	517	1,170	1,520
	人数(人)	5,897	6,193	6,621

※平成27年度より随時の相談も計上する。

③ 健康手帳交付事業

健康手帳は、健康増進法に基づき、特定健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に資することを目的に交付するものです。

・交付対象者：40歳以上の市民で希望する方

(交付実績)

	交付数
26年度	652
27年度	556
28年度	466

④ ヘルスアップ事業

ヘルスアップ事業は、生活習慣病の一次予防として、個別健康支援プログラムの実施を行い市民の健康増進、医療費の伸びの抑制を図るとともに、健康づくり推進の担い手である健康づくりサポーターの組織育成・活動支援を行なうものです。

(1) ヘルスアップセミナー

肥満等の生活習慣病の危険因子を有する方に対し、個人の健康度や体力に基づいた個別支援や疾病・食生活等の講義、運動指導を実施し生活習慣改善と健康づくりサポーターとしての育成を図ります。

・対象：40歳～69歳で以下の条件に1つ以上該当する方

①BMIが23.0～30.0の方

②腹囲が基準値以上(男性85cm・女性90cm以上)の方

・実施内容：体重の減少を目的とした運動・食事指導を2週1回(合計8回)12週間行なう個別健康支援プログラム(2コース：夜コース・午前コース)

※詳細は以下のとおり

(平成28年度実績)

	夜コース	午前コース
開催場所	総合保健福祉センター にこ♥ふる	
開催期間	5月24日～8月18日	9月15日～12月8日
受講人数	39人	36人
参加状況	90.4%	92.2%
修了人数	36人(92.3%)	33人(91.7%)

(2) スーパー健康づくりサポーター組織育成・活動支援

- ① ヘルスアップセミナーへの運営協力
- ② 情報誌の企画・作成（年2回発行）
- ③ 健康づくりサポーターのつどい企画運営など
- ④ 市民健康のつどい等による健康づくりについての啓発活動

⑤ 健康づくりセミナー

若年期からの健康づくりを推進し、市民の生活習慣病予防および健康管理に対する意識の高揚を図ることを目的に実施するものです。

○さわやかセミナー

- ・対象：さわやか健診を受診しセミナー参加を希望した女性
- ・内容：講話と実技
(健診結果の見方・食生活アドバイス・運動体験、希望者は個別相談)
- ・実施回数：1回（午前）
- ・参加者数：38人（託児利用10人）

○3か月後保健指導及び糖尿病精密検査受診勧奨

- ・対象：さわやか健診を受診した男性肥満者73人及び糖尿病精密検査対象の男女12人（男性肥満者：腹囲85cm以上またはBMI25以上の者）
- ・内容：電話による保健指導及び糖尿病精密検査受診勧奨

(6) 糖尿病予防対策事業（平成29年度予算額 1,985千円（国保1,985千円））

増え続ける糖尿病の予防対策の一環として、「糖尿病精密検査回報書」を活用した精密検査の受診勧奨を行うと共に、未受診者に対して訪問指導を実施し、糖尿病の発症や重症化の防止を図ります。

① 糖尿病予防対策事業（回報書の活用）

特定健診で要精検となった方の結果を把握し、ハイリスクの方に対して生活習慣の改善を図り、糖尿病の発症や重症化を予防します。

- ・対象者：40～69歳の国保加入者（途中加入、生保者を含む）で、特定健診を受診した方（一泊ドックを除く）
- ・精検対象者：空腹時血糖110mg/dl以上又はヘモグロビンA1c（NGSP値）6.0%以上
※定期受診や治療中を除く。

（血糖検査・精密検査受診状況）

年次推移状況	血糖検査受診者数	精検対象者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)
平成26年度	9,061	914	10.1	603	66.0
平成27年度	9,034	888	9.8	566	63.7
平成28年度	8,605	926	10.8	526	56.8

※28年度精検結果：平成29年5月末現在の糖尿病精密検査回報書の返信があったもの。

平成26・27年度については、翌年度末までに返信のあったもの。

(精密検査受診結果内容)

平成 27 年度	正常	境界型	糖尿病型	治療中 (再掲)	記載なし	回報書の 返信なし	計
人数 (人)	156	192	148	52	27	43	566
割合 (%)	27.6	33.9	26.1		4.8	7.6	100.0

※精検結果は、翌年度の 9 月末までに回報書が返信されたものでまとめるため、27 年度分を掲載します。

② 国保ヘルスアップ訪問指導事業

受診翌月に対象者把握ができる特定健診データ管理システムを利用し、精密検査未受診者に対し受診勧奨を目的に訪問指導を実施し、糖尿病の発症や重症化を予防します。

○訪問指導対象者：特定健診データ管理システムにおいて、当該月に国保連に特定健診受診の報告があった者のうち、下記に該当し精密検査回報書が発行されたもので、受診 3 か月後に回報書の返信がないもの

・年 齢：40 歳～69 歳

・検査結果：空腹時血糖 110mg/dl 以上あるいはヘモグロビン A1c

(NGSP 値)6.0%以上 (定期受診を含む、治療中を除く)

		回報書 発行者	3 か月後 回報書 返信あり	訪問指導 対象者	受診勧奨結果		受診勧奨 (延数)		
					受診あり 勧奨時既受 診 (再掲)	未受診	電話	訪問 面接	その他 通知等
27 年度	人数	888	322	566	244 (139)	322	181	91	336
	率 (%)	100.0	36.3	100.0	43.1	56.9			
28 年度	人数	926	323	603	203 (115)	400	139	113	219
	率 (%)	100.0	34.9	100	33.7	66.3			

※受診勧奨結果は平成 29 年 5 月末現在において回報書の返信、また訪問指導事業で把握した数値。

※勧奨時期について平成 27 年 1 月受診分より 2 か月後から 3 か月後に変更。

③ 糖尿病予防セミナー

高血糖者及び医療通院者に対し、食事・運動を主体とした体験型セミナーを実施し、糖尿病の発症や重症化を予防します。

○対象者： ・「糖尿病精密検査回報書」を発行した概ね 70 歳未満の者
(精密検査を受診し異常なしの者は除く)

・医療通院者で医師が食事及び運動指導が必要と認めた者

○内 容：(1) 2 回の短期実践型プログラムのセミナー開催

①講義：糖尿病の病態と合併症 (糖尿病専門部会医師)

②ランチスタディによる体験学習 (管理栄養士、食改推進員)

講義：食事量の目安、食べ方について

③講義と運動実技：運動の必要性、運動量の目安(健康運動指導士)

④講義：検査値と身体のつながり(保健師)

(2) 3 か月後支援レター送付、6 か月後アンケートによる評価

(実施状況)

	6月コース	8月コース(夜)	1月コース
開催場所	総合保健福祉センター にこ♥ふる 栄養指導研修室・健診増進ホール		
開催日	6/1、6/29	8/2、9/1	1/19、2/17
受講人数	20人	10人	19人
参加状況	92.5%	85.0%	89.5%

(7) 訪問指導事業 (平成29年度予算額 551千円) ※健康課成人保健係

介護予防の観点から支援の必要な方、及び健康診査の結果で指導が必要と認められた方や家族に対して、保健師や看護師が訪問して保健指導を行い、心身の機能低下防止と健康の保持増進を図るものです。

(単位：人)

		26年度		27年度		28年度	
		訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数
要指導者	40～64歳	215	224	115	138	163	214
	65歳以上	216	233	125	156	200	259
	計	431	457	240	294	363	473
閉じこもり予防	40～64歳	0	0	0	0	2	2
	65歳以上	9	12	15	18	5	6
	計	9	12	15	18	7	8
介護家族者	40～64歳	4	5	3	3	2	2
	65歳以上	7	9	10	14	3	4
	計	11	14	13	17	5	6
寝たきり者	40～64歳	0	0	1	1	1	1
	65歳以上	4	5	2	5	1	1
	計	4	5	3	6	2	2
認知症高齢者	40～64歳	1	1	0	0	0	0
	65歳以上	30	56	31	39	18	31
	計	31	57	31	39	18	31
その他	40～64歳	85	96	45	50	47	60
	65歳以上	127	185	114	150	98	122
	計	212	281	159	200	145	182
口腔衛生指導(再掲)		0	0	0	0	0	0
計	40～64歳	305	326	164	192	215	279
	65歳以上	393	500	297	382	325	423
合計		698	826	461	574	540	702

*平成26年度より、マルチプルリスクファクター保有者訪問指導実施。(特定保健指導未利用者対策)

*平成27年度より、国保ヘルスアップ訪問事業における訪問指導対象者を変更。

*平成28年度より、特定保健指導非該当のハイリスク者(Ⅲ度高血圧)への訪問指導実施。

特定保健指導該当者で直営対象者への訪問での利用勧奨。

(8) がん検診受診率向上対策事業

(平成 29 年度予算額 7,686 千円)

死亡原因第 1 位のがんから市民を守るため、特に 40～50 歳代の働き盛りの受診環境の整備を図り、早期発見・早期治療に有効ながん検診の受診率向上を図るものです。

○ 受診環境の整備

- ①40 歳総合健診 ②日曜日がん検診 ③障害者通所施設健診
④土曜日検診 ⑤サンセット乳がん検診 (平成 28 年度より実施)

① 40 歳総合健診

健診元年にあたる、40 歳を迎える市民を対象に総合的な健康診査を行うことで、健康管理の大切さの自覚を高め、働き盛りの年代の早世を予防するものです。就労時間を考慮し早朝に実施します。

- ・ 健診項目：特定健康診査、各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査

- ・ 総合健診受診者 (平成 28 年度実績)

対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)
1,570	199	12.7

- ・ 各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査 (40 歳のみ) (平成 28 年度実績)

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診	骨粗鬆 症検診	歯周疾 患検診	肝炎 ウイルス 検査
受診者数(人)	190	185	191	117	126	130	90	196
要精検者(人)	2	7	6	0	8	0	69	0
要精検率(%)	1.1	3.8	3.1	0	6.3	0	76.7	0

② 日曜日がん検診

平日、仕事等で都合がつかずがん検診を受診できない、主に働き盛りの年代に焦点をあて、日曜日にがん検診を実施するものです。

- ・ 各種がん検診 (平成 28 年度実績)

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	乳がん 検診
受診者数(人)	149	200	196	27
要精検者(人)	2	12	10	3
要精検率(%)	1.3	6.0	5.1	11.1

③ 障害者通所施設健診

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の検診とは別に障害者に配慮した健診体制を整備し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

・各種がん検診（平成 28 年度実績）

	肺がん 検診	大腸がん 検診	乳がん 検診
受診者数(人)	214	87	7
要精検者(人)	7	5	3
要精検率(%)	3.3	5.7	42.9

④ 土曜日検診

全国健康保険協会（協会けんぽ）等の被扶養者を対象に、特定健診未受診者健診の場を利用し、併せて市のがん検診を実施するものです。

・各種がん検診（平成 28 年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診
受診者数(人)	87	29	70	28	13
要精検者(人)	0	0	0	0	1
要精検率(%)	0	0	0	0	7.7

⑤ サンセット乳がん検診

働き盛り世代の乳がんの罹患や死亡が増加しているが、職場のがん検診については労働安全衛生法で義務付けられておらず、検診の受診率が低いことから、平日の日中に乳がん検診を実施するものです。

（平成 28 年度実績）

	乳がん検診
受診者数(人)	42
要精検者(人)	5
要精検率(%)	11.9

○ 啓発事業

① がん講演会

講演会を通じて広く市民にがん検診の大切さや受診について啓発し、受診向上を図るものです。(庄内南部定住自立圏協定による庄内町、三川町との合同実施)

- ・日時 平成 28 年 9 月 29 日
- ・場所 鶴岡市国際交流センター 出羽庄内国際村ホール
- ・内容 講演Ⅰ「たばこの煙はもういや！きれいな空気のがん予防」
講師 産業医科大学 産業生態科学研究所健康開発科学研究室
教授 大和 浩 氏
- 講演Ⅱ「がんの危険を減らす確実な方法とあなたに最適ながんの予防法」
講師 東北大学大学院医学系研究科 環境遺伝医学総合研究センター
分子疫学分野 教授 栗山 進一 氏
- ・参加人数 216 人

② がん検診受診向上対策キャンペーン

広く市民への受診啓発を図り、地域全体のがん検診受診向上をより一層推進するものです。

<庄内南部定住自立圏協定による庄内町、三川町との合同実施>

- ・日時 平成 28 年 10 月 22 日(土)、10 月 23 日(日)
- ・場所 イオンモール三川
- ・内容 受診啓発グッズの配布、がん検診に関するクイズ、ポスター・パネル展示
測定機器による健康チェック
※庄内保健所主催「いきいき健康フェア 2016」との合同開催
- ・啓発者数 4,750 人

<市単独実施>

- ・日時 平成 28 年 10 月 23 日(日)
- ・場所 市内スーパー 4 店舗 (ヤマザワ鶴岡店・宝田店、主婦の店イーネ駅前店・mina 店)
- ・内容 受診啓発グッズの配布
- ・啓発者数 1,800 人

③ 健康つるおかマイレージ事業

※平成 28 年度で終了

健康づくりに関する事業等に参加した場合ポイントがつき、一定のポイントに達すると特典がつく制度で、市民一人ひとりの健康づくりを応援します。

- 対象者 20 歳以上の市民
- 健康づくり事業及びポイント

健診受診が必須で、運動の実施や健康教室等への参加、禁煙達成などで 1 回 5～50 P が付き、200 P 以上貯めることを目標に取り組んでもらう。

ともにポイント(平成 28 年度新設)…100 P

友人または家族3人一緒の取組で其々ボーナスポイントがもらえ、早期達成を応援
※4月以降の取り組みが対象。

○特典の内容

- ・100ポイント：「やまがた健康づくり応援カード」の配布。[協力店で特典（サービス）が受けられる。]
- ・200ポイント：健康つるおかマイレージロゴ入りタオルの配布。
抽選による健康増進施設等利用券の贈呈。

○ポイントカードの設置

健康課、地域庁舎市民福祉課、スポーツ課等関係各課、運動施設等

事業参加状況

	事業周知者数	100P達成者数	200P達成者数
平成28年度	9,500人	76人	70人

(9) がん患者医療用ウィッグ購入費助成事業

(平成29年度予算額 1,600千円)

がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の維持向上のため、がんの治療に伴う外見の悩みや経済的負担を軽減する観点から、医療用ウィッグ購入費の助成を行うものです。

助成金の額：2万円又は医療用ウィッグ購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

	26年度	27年度	28年度
助成件数	37	49	50

(10) 障害者に対する施策

① 障害者通所施設健診

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の検診とは別に健診日を設定し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

- ・検査項目：健康診査（39歳以下は眼底検査を除く）
がん検診（肺がん・大腸がん・乳がん）
※がん検診については、「がん検診受診率向上事業」に掲載

(平成 28 年度実績)

受診者 (人)		健康診査		計
		男	女	
39歳以下 (さわやか健診)		101	81	182
40歳以上	生活保護受給者等	25	14	39
	国民健康保険加入者	88	61	149
	後期高齢者医療保険加入者	11	10	21
	*他の医療保険加入者	12	12	24
合 計		237	178	415

※健康診査費については、各事業費より支出 (*は除く)